



信濃湯田中温泉図

湯田中渋温泉郷は古くから長寿の湯として知られ、小林一茶はこの地をしばしば訪れ、湯治をし、俳句を詠んだり俳句の指導をしたりしています。

一茶は「田中河原という所は、田のくろ、あるは石の陰よりめでたき湯のふくふくと出て…」と湯量豊かなやまのうちの温泉のことを書いています。



一茶像(一茶の散歩道 一茶堂)

雪ちるや わき捨ててある 湯のけぶり (一茶)
さんげん 三絃の かすみかな ばちで掃きやる 霞哉 (一茶)

梅翁寺には一茶の「子どもらが雪喰いながら 湯治哉」の句碑があり、「一茶の散歩道」には小林一茶の像があります。

一茶は「座敷から 湯にと
 び入るや はつ時雨」とい
 う句も詠んでいるよ。



ぼくは「やせがえる
 負けるな一茶 ここ
 にあり」が好きだよ。